

用途別サーバー選定ガイド

用途	ユーザー規模	想定する環境	おすすめ製品	導入の目安	
ファイル・サーバー	30名以下	コストパフォーマンス重視	タワー型 x3200 M2 SATA HDDモデル	<ul style="list-style-type: none"> HDDはデータ損失を防ぐ、HDDミラーリング(RAID1)に構成済みです。 	
		低コストで連続運用が必要	ラック型 x3350 PBB/PAY/PBA		
	100名以下	コストパフォーマンス重視	タワー型 x3200 M2 SAS HDDモデル	<ul style="list-style-type: none"> マルチコアプロセッサ搭載によりシングルコア製品と比べて飛躍的なパフォーマンス向上を実現しています。 信頼性の高いSAS HDDが搭載済みです。 24時間稼働を支えるにはホットスワップリダンダント電源を増設することをおすすめします。 	
		連続運用と将来の拡張性を考慮したい	タワー型 x3400 M2 PAL/PAM		
	100名超	連続運用・管理性を重視し、将来のサーバー増強にも備えたい	タワー型 x3550 M2 PAA/PAB/PBP/PBN	<ul style="list-style-type: none"> メモリーを1GB以上に増設することをおすすめします。 ホットスワップSAS HDDなら簡単にHDDを交換できます。HDDを最大4台1.2TBまで拡張できます。信頼性の高いSAS HDD搭載がおすすめです。 ホットスワップモデルなら簡単にHDDを交換できます。HDDはデータ損失を、より効率的に防ぐRAID5に構成済みです。 24時間稼働を支えるホットスワップリダンダント電源、稼働中のHDD交換が可能なホットスワップRAID5構成、メモリーを2GB以上に増設することをおすすめします。 ライトバスによる障害診断で、障害時にも早期の復旧が可能です。 リモート管理アダプターを搭載すると、1拠点から各System x の稼働状況(ファン、HDD、電源等)を確認でき、サーバーの電源on/off状況に関わらず設定変更もできます。 	
			ブレード・サーバー BladeCenter S+HS22 PCC/PAJ		
		ブレード・サーバー BladeCenter HS22 PCC/PAJ			
Webサーバー	30名以下	限定的なユーザー向けに、低コストで構築したい	タワー型 x3200 M2 SATA HDDモデル	<ul style="list-style-type: none"> HDDはデータ損失を防ぐ、HDDミラーリング(RAID1)に構成済みです。 	
		将来のアクセス増加に備えて増強を予定	ラック型 x3250 M2 PAS/PBA/PBB		
	100名以下	低コストで既存ユーザーに必要なパフォーマンスを確保	タワー型 x3400 M2 PAM/PAL	<ul style="list-style-type: none"> 2ソケット(CPUを2個搭載できる)サーバーをおすすめします。 24時間稼働を支えるホットスワップリダンダント電源、稼働中のHDD交換が可能なホットスワップRAID5構成をおすすめします。 リモート管理アダプターを搭載すると、1拠点から各System x の稼働状況(ファン、HDD、電源等)を確認でき、サーバーの電源on/off状況に関わらず設定変更もできます。 2ソケット(CPUを2個搭載できる)サーバーをおすすめします。 24時間稼働を支えるホットスワップリダンダント電源、稼働中のHDD交換が可能なホットスワップRAID5構成をおすすめします。 リモート管理アダプターを搭載すると、1拠点から各System x の稼働状況(ファン、HDD、電源等)を確認でき、サーバーの電源on/off状況に関わらず設定変更もできます。 サーバーのダウンタイムを最小限に抑えたい場合は、クラスタリング構成をおすすめします。(DBサーバーにはx3950 M2をご利用ください。DBサーバーの負荷に合わせて最大16CPU/64コア構成まで増強でき、性能不足に陥る心配がありません)。 ラック型はサーバーの用途により、信頼性の高いSAS HDDか、容量あたりのコストが低いSATA HDDの選択が可能です。 	
			導入コストを抑えながらもアクセス増に柔軟に対応したい		ラック型 x3550 M2 PAA/PAB
		アクセス増への柔軟な対応だけでなく、信頼性や管理性も重視	タワー型 x3500 M2 PAM		
			ブレード・サーバー BladeCenter S+HS22 PCC/PAJ		
	社外から大量のアクセスを想定	24時間365日の継続的な運用が必要	ラック型 x3650 M2 PAA/PAB/PBT/PBU	<ul style="list-style-type: none"> メモリーを2GB以上に増設することをおすすめします。 大量のアクセスを継続的に処理する場合には、サーバー台数を増やすほかにも、ロードバランサーの導入により、負荷を分散できます。 数百~数千名規模のアクセスが見込まれる場合は、サーバー台数を増やすよりも、BladeCenterの導入により、効率的な負荷分散と容易な管理、コストの低減などが図れる場合があります。6台以上のラック型の購入をお考えなら一度BladeCenterと比較ください。 稼働し続ける低価格な無停止サーバーソリューションとして提供されています。 	
			ブレード・サーバー BladeCenter HS22 PCC/PAJ		
	メール・サーバー	30名以下	限定的なユーザー向けに、低コストで構築したい	タワー型 x3200 M2 SATA HDDモデル	<ul style="list-style-type: none"> HDD容量80GB以上を推奨します。 メールロストを防止するため、最低限HDDミラーリング(RAID1)構成が必要です。 ホットスワップHDDモデルなら、簡単にHDDを交換できます。データ損失を、より効率的に防ぐRAID5構成をおすすめします。 リモート管理アダプターを搭載すると、1拠点から各System x の稼働状況(ファン、HDD、電源等)を確認でき、サーバーの電源on/off状況に関わらず設定変更もできます。 ラック型はサーバーの用途により、信頼性の高いSAS HDDか、容量あたりのコストが低いSATA HDDの選択が可能です。
			将来のアクセス増加を見込んで拡張性を重視	ラック型 x3400 M2 PAM/PAL	
100名以下		コストパフォーマンス重視	ラック型 x3550 M2 PAA/PAB/PBP/PBN	<ul style="list-style-type: none"> メールロストを防止するため、最低限ミラーリング構成が必要です。 ホットスワップHDDモデルなら、簡単にHDDを交換できます。データ損失を、より効率的に防ぐRAID5構成をおすすめします。 リモート管理アダプターを搭載すると、1拠点から各System x の稼働状況(ファン、HDD、電源等)を確認でき、サーバーの電源on/off状況に関わらず設定変更もできます。 サーバーのダウンタイムを最小限に抑えたい場合は、クラスタリング構成をおすすめします。稼働し続ける無停止サーバーもおすすめです。 ラック型はサーバーの用途により、信頼性の高いSAS HDDか、容量あたりのコストが低いSATA HDDの選択が可能です。 	
			社内の他のサーバーも含めた管理性を重視		ブレード・サーバー BladeCenter S+HS22 PCC/PAJ
		ブレード・サーバー BladeCenter HS22 PCC/PAJ			
中規模ERPサーバー	30名以下	コストパフォーマンス重視と信頼性のバランスを重視	タワー型 x3200 M2 SAS HDDモデル	<ul style="list-style-type: none"> メモリー1GB以上、HDD構成はRAID5、容量220GB以上を推奨します。 ホットスワップHDDモデルなら、簡単にHDDを交換できます。データ損失を、より効率的に防ぐRAID5付きをおすすめします。 アプリケーションでパワーを必要とされるケースが多いため、2ソケット(CPUを2個搭載できる)サーバーをおすすめします。 x3400は最大8台 2.4TB(オプション使用)までHDDを拡張でき、ユーザー数、HDD容量の増加に対応できます。 	
		将来のアクセス増加に備えて増強を予定	タワー型 x3400 M2 PAM/PAL		
	100名以下	導入コストを抑えながらもアクセス増に柔軟に対応したい	タワー型 x3500 M2 PAM	<ul style="list-style-type: none"> メモリーを2GB以上に増設することをおすすめします。 24時間稼働を支えるホットスワップリダンダント電源、稼働中のHDD交換が可能なホットスワップRAID5構成をおすすめします。 アプリケーションでパワーを必要とされるケースが多いため、2ソケット(CPUを2個搭載できる)サーバーをおすすめします。 サーバーのダウンタイムを抑えたい場合は、クラスタリング構成をおすすめします。 	
			アクセス増への柔軟な対応だけでなく、信頼性や管理性も重視		ラック型 x3550 M2 PAA/PAB
	100名超	連続運用・管理性を重視し、将来のサーバー増強にも備えたい	ブレード・サーバー BladeCenter S+HS22 PCC/PAJ	<ul style="list-style-type: none"> メモリーを4GB以上に増設することをおすすめします。 さらなるCPUパワーが必要になる場合には4ソケット構成(CPUを4個搭載できる)のサーバー(x3850 M2、x3950 M2、LS41)をおすすめします。 大量のアクセスを継続的に処理する必要がある場合には、サーバー台数を増やすほかにも、ロードバランサーの導入により、負荷を分散できます。 サーバーのダウンタイムを抑えたい場合は、クラスタリング構成をおすすめします。稼働し続ける無停止サーバーが最適なソリューションです。 	
			ラック型 x3650 M2 PAA/PAB/PBT/PBU		
			ブレード・サーバー BladeCenter HS22 PCC/PAJ		